



IBM Software Group | Rational software

IBM® Rational® ClearQuest®

ClearQuest 親子階層について

Rational software

@business on demand.

© 2008 IBM Corporation  
Updated August 13, 2008

The slide features a blue header with the IBM logo and 'IBM Software Group | Rational software'. The main content area is white with the title 'IBM® Rational® ClearQuest®' and subtitle 'ClearQuest 親子階層について'. Below the subtitle is the 'Rational software' logo and a horizontal bar with various icons. The footer is blue with '@business on demand.', copyright information, and an update date.

このモジュールでは、親子階層について説明します。これは親子関係とも呼ばれます。このモジュールは、ClearQuest 7.0.1 以降のバージョンを使用していること、およびClearQuest Designer でのスキーマデザインに関する基本的な知識があることを前提としています。

## 目標

- モジュールの内容
  - ▶ 親子階層の作成
  - ▶ 逆参照フィールドの作成
  - ▶ レコードの作成方法
- このモジュールで習得できること
  - ▶ 親子階層の作成方法を理解できる
  - ▶ 親子関係の作成は一方向にのみで可能であることを理解できる



ClearQuest を使用して、2つのレコードタイプ間での関係を設定して表示することができます。このモジュールでは、親子階層を設定する方法、逆参照フィールドを作成する方法、レコード間の関連を作成する順番について説明します。

## ClearQuest 親子階層 – 作成

- ClearQuest Designer で、reference フィールド(1対1関係)、または reference\_list フィールド(1対多関係)を追加することによって、2つのレコードタイプを関連付けることができます。
- 一方のレコードタイプのレコード(親レコード)から関連を作成できます。
- 別のレコードタイプ(子レコード)では、関連付けられているレコードが表示されますが、子レコードからは関連付けを作成できません。
- 親子階層を作成する前に、どちらのレコードから関連付けを作成するか、どちらのレコードを親レコードにするかを決定する必要があります。



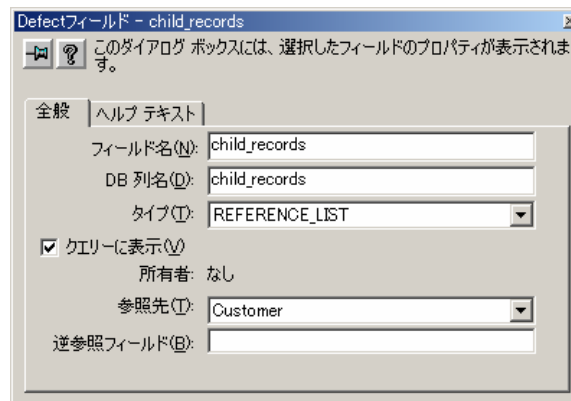
ClearQuest Designerで、[1対1]関係のためのreference フィールド、または[1対多]関係のためのreference\_list フィールドを作成することにより、2つのレコードタイプの関係を設定することができます。親レコードである一方のレコードタイプのみから、この関連付けを行うことができます。

子レコードであるもう一方のレコードタイプでは、関連付けられているレコードが表示されますが、子レコードからは関連付けを設定できません。

親子階層を作成する前に、どちらのレコードから関連付けを作成するか、どちらのレコードが親レコードになるかを検討する必要があります。

## ClearQuest 親子階層 — 作成

reference\_list または reference タイプフィールドを親レコードタイプに作成します。以下の例では defect が親レコードになります。

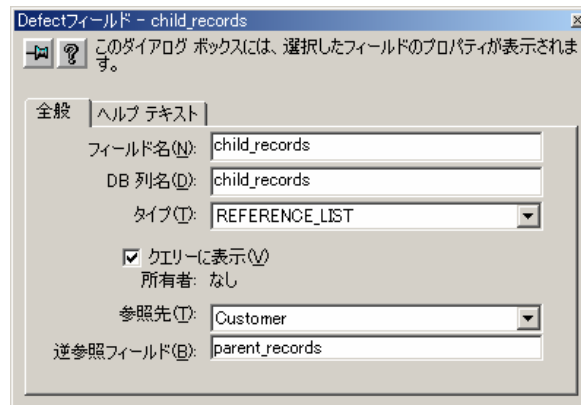


この例では、defect レコードタイプに、Child\_records という名前の reference\_list フィールドが作成されます。この child\_records は Customer レコードタイプを参照します。

このフィールドは、defect レコードと customer レコードの関連付けを表示するためのフィールドとして使用されます。Defect レコードに Customer レコードが実際に追加されるわけではありません。

## ClearQuest 親子階層 — 作成

逆参照フィールド名を入力します。逆参照フィールドは、読み取り専用で、これにより子レコードからもリンクを表示できるようになります。



Defectフィールド - child\_records

このダイアログ ボックスには、選択したフィールドのプロパティが表示されます。

全般 ヘルプ テキスト

フィールド名(N): child\_records

DB 列名(O): child\_records

タイプ(T): REFERENCE\_LIST

クエリーに表示(V)  
所有者: なし

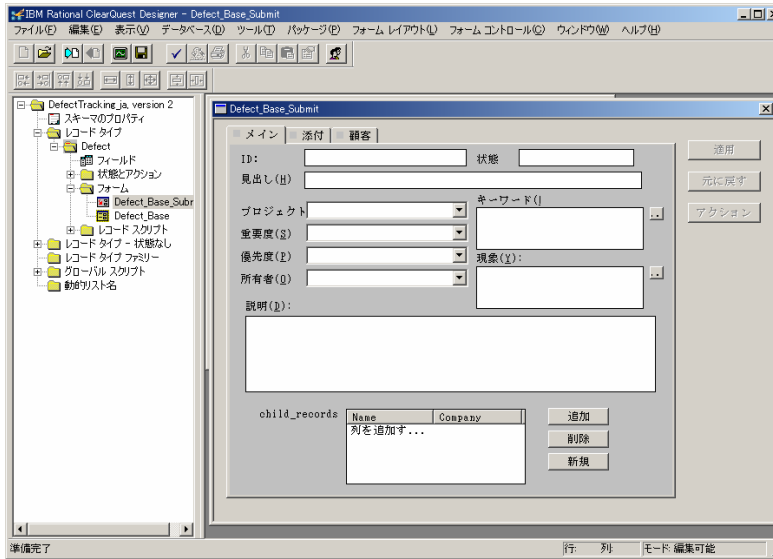
参照先(I): Customer

逆参照フィールド(B): parent\_records

逆参照フィールド名を入力します。逆参照フィールドは、読み取り専用で、このフィールドによって子レコードからもリンクを表示できるようになります。  
この例では逆参照フィールドがparent\_recordsという名前で作成されます。  
逆参照フィールドは、フィールドを追加したレコードタイプではなく、参照されているレコードタイプ側に追加されます。この例では、Customerレコードタイプにparent\_recordsというフィールドが追加されます。

## ClearQuest 親子階層 — 作成

Child\_records フィールドを defect フォームにドラッグします。



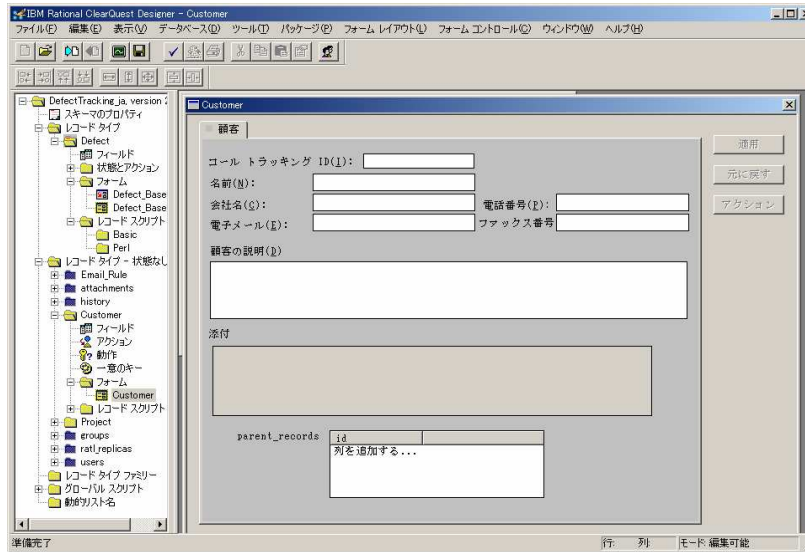
ClearQuest parent child hierarchy

© 2008 IBM Corporation

Child\_records フィールドをフォームにドラッグすると、追加、削除、新規ボタンが含まれた「親/子」コントロールが追加されます。  
フィールドをドラッグする代わりに、コントロールパレットから「親/子」コントロールを選択してフォームに追加することもできます。

## ClearQuest 親子階層 – 作成

Customer レコードのフォームに、逆参照フィールド parent\_records フィールドをドラッグします。



ClearQuest parent child hierarchy

© 2008 IBM Corporation

Customer レコードフォームに、逆参照フィールドをドラッグすると追加、削除、新規のボタンは追加されません。逆参照フィールドは、親レコードから作成された関連付けを表示するのみに使用されるためです。この例では、defect レコードが親レコードになります。

## ClearQuest 親子関係

- 親レコードから子レコードに対してのみ、関連付けを行うことができます。前ページの例では、defect レコードからのみ、defect と customer を関連付けできます。
- 親子関係を追加する前に、どちらのレコードが親レコードになるかを検討する必要があります。



親レコードから子レコードに対してのみ、関連付けを行うことができます。前ページの例では、defect レコードからのみ、defect と customer との間の関係を作成できます。

2つのレコードタイプをこのように関連づけることにより、片方のレコードが親のレコードとなり、別のレコードをこの親のレコードに関連づけることとなります。ClearQuest では、親レコードに子レコードを追加できますが、子レコードから親レコードを追加できません。



## まとめ

- 親子階層では、2つのレコードタイプ間のみの関連を表示できます。
- 親レコードからのみ、2つのレコードタイプを関連付けることができます。



これで、親子階層が何であるか、また設定の仕方が理解できましたでしょうか。  
まとめますと、親子階層は2つのレコードタイプ間の関係であり、関連付けは一方のレコードタイプでのみで可能ですが、関連の表示は両方のレコードタイプで可能です。

## フィードバック

IBM Education Assistant 向上のためのご意見・ご要望をお送りください。  
いただいたご意見・ご要望は今後の参考にさせていただきます。

- このモジュールは参考になりましたでしょうか
- このモジュールによって問題を解決、または疑問にお答えできましたでしょうか
- 改善のためのご意見をお寄せください

以下をクリックしてeメールを送付ください:

[mailto:iea@us.ibm.com?subject=Feedback\\_about\\_RCQ\\_Module4\\_ParentChildHierarchy\\_ja.ppt](mailto:iea@us.ibm.com?subject=Feedback_about_RCQ_Module4_ParentChildHierarchy_ja.ppt)



IBM Education Assistant の向上のため、お客様のご意見・ご要望をお送りください。いただいたご意見・ご要望は今後の参考にさせていただきます。

## Trademarks, copyrights, and disclaimers

The following terms are trademarks or registered trademarks of International Business Machines Corporation in the United States, other countries, or both:

ClearQuest IBM Rational

Rational is a trademark of International Business Machines Corporation and Rational Software Corporation in the United States, other countries, or both.

Product data has been reviewed for accuracy as of the date of initial publication. Product data is subject to change without notice. This document could include technical inaccuracies or typographical errors. IBM may make improvements or changes in the products or programs described herein at any time without notice. Any statements regarding IBM's future direction and intent are subject to change or withdrawal without notice, and represent goals and objectives only. References in this document to IBM products, programs, or services does not imply that IBM intends to make such products, programs or services available in all countries in which IBM operates or does business. Any reference to an IBM Program Product in this document is not intended to state or imply that only that program product may be used. Any functionally equivalent program, that does not infringe IBM's intellectual property rights, may be used instead.

Information is provided "AS IS" without warranty of any kind. THE INFORMATION PROVIDED IN THIS DOCUMENT IS DISTRIBUTED "AS IS" WITHOUT ANY WARRANTY, EITHER EXPRESS OR IMPLIED. IBM EXPRESSLY DISCLAIMS ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. IBM shall have no responsibility to update this information. IBM products are warranted, if at all, according to the terms and conditions of the agreements (for example, IBM Customer Agreement, Statement of Limited Warranty, International Program License Agreement, etc.) under which they are provided. Information concerning non-IBM products was obtained from the suppliers of those products, their published announcements or other publicly available sources. IBM has not tested those products in connection with this publication and cannot confirm the accuracy of performance, compatibility or any other claims related to non-IBM products.

IBM makes no representations or warranties, express or implied, regarding non-IBM products and services.

The provision of the information contained herein is not intended to, and does not, grant any right or license under any IBM patents or copyrights. Inquiries regarding patent or copyright licenses should be made, in writing, to:

IBM Director of Licensing  
IBM Corporation  
North Castle Drive  
Armonk, NY 10504-1785  
U.S.A.

Performance is based on measurements and projections using standard IBM benchmarks in a controlled environment. All customer examples described are presented as illustrations of how those customers have used IBM products and the results they may have achieved. The actual throughput or performance that any user will experience will vary depending upon considerations such as the amount of multiprogramming in the user's job stream, the I/O configuration, the storage configuration, and the workload processed. Therefore, no assurance can be given that an individual user will achieve throughput or performance improvements equivalent to the ratios stated here.

© Copyright International Business Machines Corporation 2008. All rights reserved.

Note to U.S. Government Users - Documentation related to restricted rights-Use, duplication or disclosure is subject to restrictions set forth in GSA ADP Schedule Contract and IBM Corp.